県民の友

昭和45年381号

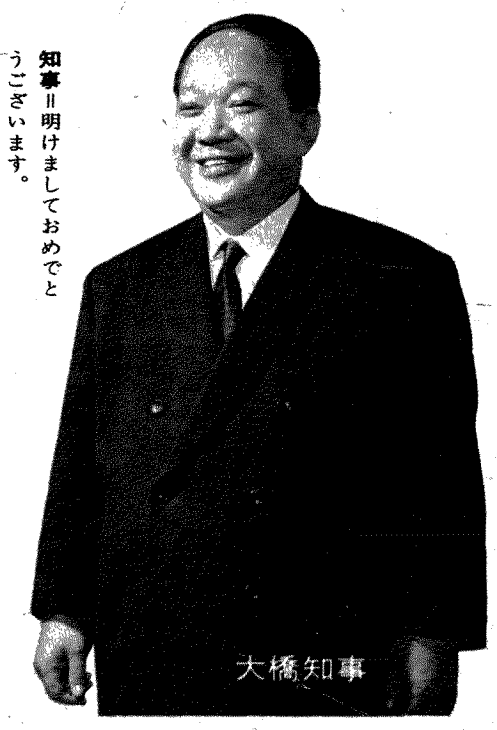
発行／和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通り1丁目1番地

昭和45年元旦

黒潮は
おおきくたくましい
黒潮はおおらかであたたかく
たくましい県民性を
育ててきた
この黒潮のように
たくましい和歌山県でありたい
との祈りをこめて
黒潮国体は
いま華麗で壮大な
序曲をかなでようとしている

黒潮国体を県勢の飛躍台に

松下幸之助氏と語る



大橋知事

知事＝明けましておめでとうございます。

松下＝おめでとうございます。

知事＝ますますご壮健でなによりです。昨年はまた風土記の丘でお世話になりましてありがとうございました。有意義に活用したいと張り切っております。

松下＝いえいえ、郷土の皆さんに少しでもお役に立てば幸いです。地方自治体も財源で苦労なさる面が多いでしょうね。それに来年はいよいよ黒潮国体で大変ですね。

知事＝過日、松下さんが、和歌山市制八十周年の記念講演会で、黒潮国体を県勢発展の飛躍台にすべきだとお話しくださったと聞いて意を強くしています。

黒潮国体でコトをおこす

松下＝私は、人間、尋常無事というのは、一面で非常に結構だと思うのですが、他面、それ程いい事ばかりとは限らないと思うのですというのは、尋常無事が長く続けば、そこにどうしても惰性に流れる一面が出てきて、安易に日々を送りがちになる。それが人間というものです。だから、時に何かの機会をとらえて、みずからコトを起こすということも大切です。和歌山県

新春対談

明るく＊豊かに＊たくましく＊

国体準備総仕上げの年に

にとって、黒潮国体は、ちょうどそのコトを起こすという機会にあてはまると思うのですよ。国体を機会に県民が意気を高めあい、施設や道路を充実して、和歌山県の新たな発展を生みだす飛躍台にしてほしいと思います。

そのために、場合によっては、県や市が、県債や市債を発行してもよいのではないかと思います。たとえ一時的には借金をすることになるとしても、これは必ず、あとになって生きてくると思うのです。

東京オリンピックのときつくられた道路や施設が、こんにち、どれほど役に立っているか…。オリンピックを機会に、思い切って高速道路網をふやしたからいいものの、あれがなければいまごろ東京の道路は車の洪水で、完全にマヒしているのではないでしょうか。あの当時は、いろいろの批判もあったようですが、やはり人間というものはいかに機会をとらえてコトを起すかが必要なんですね。東京オリンピックは、そのことのよい教訓になっていると思います。

この機会に物心両面を充実

知事＝おっしゃられる通りです。私が国体誘致に全力をあげてきたのも、そのためなんです。単に国民的なスポーツの祭典を誘致するという意味よりも、この機会に、ややもすれば中央から目をそらされがちな和歌山県に、目をむけてもらって、施設や、道路を充実させたいという目的と、精神的な意味で県民をふるいたたせたい、という願いがあったのです。私の黒潮国体にかけた願いといいますか祈りといいますか、そうしたものを〝日本の松下さん〟が、いちばん理解してくださったことを、ほんとうにうれしく思っています。

松下＝私はいま、和歌山県には住んでおりませんけれども、知事さんのそうした願いというものはよくわかるような気がします。

和歌山県を経営するという立場から考えれば、やはりそういうことが大事になると思います。

知事＝経営の神様を前にしてなんですが（笑）私はいつも県職員や市町村の方々に、経営者的な感覚も組み入れて行政を考えるようにいっているのですよ。

松下＝どんな分野でも、おたがいの働きの能率を高めるというか、生産性を高めていくということが、繁栄に結びつくのだと思いますところで、国体の準備の方はいかがですか。

施設・道路を思い切って

知事＝おかげさまで順調に進んでいます。施設は、ことし中にほとんど完成させる予定で、施設に関しては総仕上げの年になると思います。

松下さんのご好意でこんど新しく和歌山市にできる体育館も、ことしの夏頃にはできるようです。

黒潮国体の際は、柔道会場として使わせていただく予定にしています。

既存の施設を活用することも大いにいたしますが、体育館や運動場は、この際できるだけつくっておけばあとで必ず住民に喜ばれると考えているのです。

松下＝そうですね。ヨーロッパやアメリカなどでは、小さな町でもそうした施設には相当金をかけているようですね。道路の方はどうですか。

知事＝和歌山駅から、主会場のある紀三井寺に通じる〝国体道路〟や、和歌山市内の小松原五丁目から高松までの国道の整備も進んでいます。

国にお願いしている国道四十二号線の改良、とくに紀三井寺から海南までは国体までにまにあわせます。

阪和高速道路の方も、阪和間のラッシュ解消のためなんとかまにあわせたいとがんばっているのですが、多少の心配は残っています

松下＝よく三割自治といったことがいわれますが、国家の仕組みも、もっと地方自治体の自主制が発揮しやすいものにならないといけませんね。現状では、独自の事業はなかなかできないでしょう。

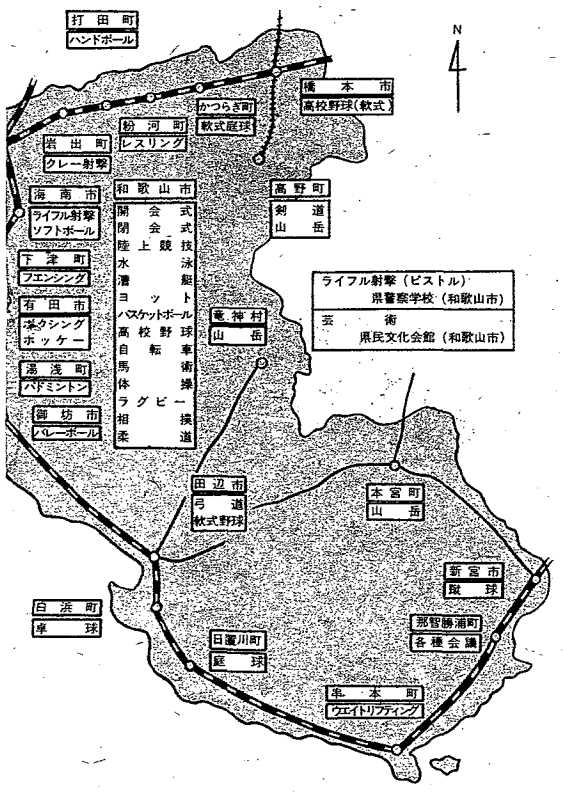
知事＝国体関連道路にかぎって、用地買収をスムーズにするため、制度をもうけ議会の承認をいただいて、県が一時、お金をたてかえて買収をすすめる方法をとるなど、あれこれ、やりくりをしているのですが…。

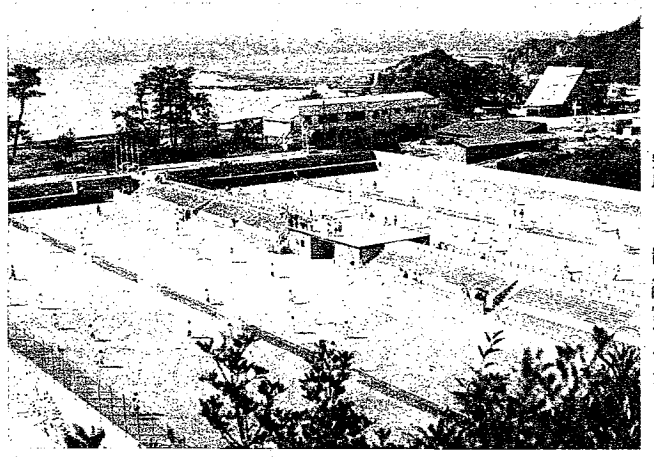
松下＝それはいい。施設や道路が立派になることの利益は、結局県民に還元されるのですから、この際、思い切ってやるべきでしょう国体に金がかかりすぎるといった批判も出てくるのではないかなどという心配をせずに、思い切ってやられることですね。あのオリンピックのときでも、一部にはいろいろいわれながらも結局は大いに役に立っているのですから…。県民の方々も、そういうことを十分理解された上で、すすんで国体に協力してゆくということが必要なのではないでしょうか。

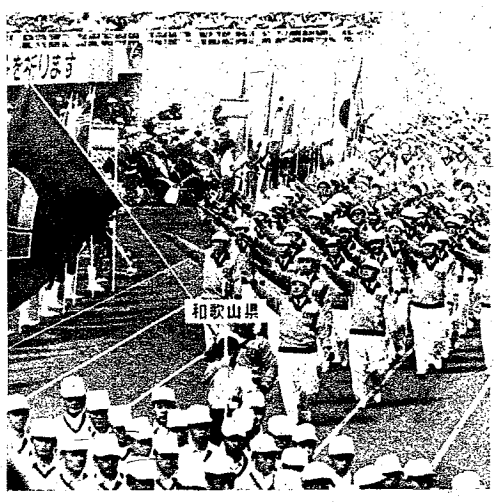
みんなの親切で好印象を

知事＝そうです。国体が成功するか否かは、県民がこの国体に協力してくれるかどうかにかかっているわけです。そこで新県民運動として、「きれいにしよう・親切にしよう・たくましく鍛えよう・むだをなくそう」の四項目を提唱しています特に「きれいにしよう・親切にしよう」は、国体までにぜひとも県内に盛りあげようと、全市町村に呼びかけ　※

●黒潮国体開催予定地




完成した日置川町営テニスコート



郷土の期待をになって…
（共同通信提供）

きれいにしよう
親切にしよう
＝民運動

広報ガイド

★★★

テレビ・ラジオ新春特別番組

★★★

〝新しい年〟
－和歌山県政の課題－
四国テレビ（1 ch）
1月3日10:00～10:30
毎日テレビ（4 ch）
1月5日10:20～10:50
出席者
県連合未亡人会長　保田勢以
県立北高校教諭　三嶋泰代
青年の船参加者　曽和　寛
知　事　大橋正雄

〝県政・昭和45年〟
和歌山放送
1月1日9:30～10:00

黒潮国体の成功を願って

駐車場の完備を

冷水靖三郎
進物商
和歌山市紀三井寺

駐車場が、日常生活においてさえ不足している。むつかしい点もあると思うが開催地区周辺には他府県からの入場者に安心してもらえるような完全駐車場をつくってほしい。私もできるだけの支援をしていきたいと思う。

内容ある国体を

杉本年子
事務員
和歌山市東長町

近年の国体にいろいろな批評が聞かれる。マンネリ化、マンモス化、そして、観光スポーツ…と。その中での黒潮国体を成功させるためには、外見のはなやかさでなく、内容の充実した国体にしなければいけない。県民一人一人が、親切に、たくましくのスローガンを身につけ、実行したいと思う。

郷土の美に「花」を

藍畑喜一郎
町内連合会会長
田辺市末広町

郷土の美をさらに「花」で飾ろう。田辺市の農村地域では、今、農閑期を利用して、苗園に矢車草などの苗を育ててくれている。この苗を、市民の手に、市民は庭先に、やがて春には花ざかりとなる日を楽しみにしながら四十六年黒潮国体の成功を願ってがんばりたい。

がんばってください

湯川志げ美
宮前小学校六年
和歌山市田尻

選手になって、国体に出たいなあ。でも、和歌山で国体がある時は、まだ、中学二年生無理かな。そのかわり、競技場へ行って、和歌山の選手を、一生懸命、応えんしてやろう選手のお兄さん、お姉さん、和歌山県のために、しっかりけいこして、がんばってください。

人間交流の場に

宮本正大
商業
新宮市

謹賀新年

和歌山県議会議員（議員名簿順）

岡本長浦八木丸山松本福本山下貴志八柳一弥吉前田信一寛前田勝見楠本鍋島隆雄山本有造

吉岡塙坂治郎五郎茂中本重夫松本計一前田増一竹中節田中実三郎森利一下川舜三土肥正敏山崎利雄的場鹿五郎土橋常一矢川喜英窪田憲一

西妙林忠重翁野九爾明野岩太郎矢野栄一大橋弘丸山勇笹野浜本義友町田義敏江敏一大森辰男坂久五郎植野為隼

和歌山県知事
大橋 正雄

明けましておめでとうございます
黒潮国体に向かって
昭和45年は一入大切な年であります
格別の御協力を願い致しますと
ともにみなさまにとってよい年であります
ようにと祈り申上げます
昭和四十五年元旦
大橋正雄

和歌山県議会議長
下西 岩吉

新年おめでとうございます
県議会は住民の福祉のために
邁進いたします
みなさまにおよろしくお願いします
下西岩吉

黒潮国体をめざして、きょうもがんばる　共同通信提供

たくましく鍛えよう　むだをなくそう　＝新県

この機会に仲ばそう郷土

※けて運動を展開しています。

観光県でもある和歌山県では、特に旅館や、バス、タクシーなどの仕事にたずさわっておられる方、またみやげ物店を始め、商店などに従事する方々の応接ぶりが、県全体の印象を左右することになりますから、その点にも大いに力を入れたいものです。

さいわい、最近、新県民運動実行会として、○○花の会とか、○○川を美しくする会というような、また親切運動の会などの、民間有志の団体が生まれてくれています。

松下＝それは結構なことですね。そうした運動がさらに大きく県内のすみずみまで浸透して、道路が緑の木やきれいな花でおおわれ、接する人たちがみんな親切だということになれば、国体に参加された全国の方々は、非常に良い印象を抱いてくれそれぞれの県に帰られるだから、それは、ただ単に和歌山県を好ましい姿にするだけでなく、日本全体を良化することにも通じますね。そういうことを考えてみましても、この運動は是非とも成功さし、実際、和歌山県人をもってすれば、これは成功できるのではないでしょうか。

勝負強い選手をそだてる

知事＝国体に出場する選手についても、先の長崎国体では、陸上の三嶋恭代さん（一般・高校教員女子八百メートル）中谷隆哉君（高校教員男子百メートルハードル）早崎貴子さん（教員砲丸投げ）が優勝し、陸上では全国第八位、また、水泳で第十一位になるなど、第二十二回の埼玉国体から漸次成績も向上して来ました。黒潮国体の開催まで、これからは勝負強い選手をそだてて行くため、強化選手を遠征試合や全国大会に数多く参加させ経験を豊かにすることに力を注ぐほか、中央からよいコーチを招へいしたり、優秀な指導者となるものを採用し、選手強化にあたらせるつもりでおります。

また、各企業体の協力をえて優秀な選手を養成してもらうことを考えております。

私は、この機会にこそ、和歌山県のスポーツ向上を図り、このスポーツを通して、青少年の健全育成を図りたいと考えています。

スポーツで鍛えよう

松下＝将来の日本を背負って立つ若い人たちは、スポーツによって大いに自己を鍛えてほしいと思いますね。

スポーツに熱中できる人はおおむね何をさせても優秀な人が多いといえるのではないでしょうか。

というのは、スポーツで勝つためには、やはり容易なことでは勝てない。毎日きびしい練習を積み重ねなければならない。そのためには、単に体力だけでなく自分自身に打ちかてるだけの強い意志というか熱意をも養う必要がある。そういうことが、より良い人生を生き抜くうえに大いに役立つのだと思います。

知事＝スポーツにはルールがあり、そしてチームワークが必要です。スポーツに親しむ青少年が自然にルールを守り秩序を守ることを身につける。このことが青少年の健全育成のために大いに役立つものだと思うのです。

松下＝そのとおりですね。そういうものが、いまの日本には特に必要だと思います。国体を契機として和歌山県の若い人たちの間にスポーツがますます愛好され健全な精神と健全な肉体をかね備えた人がさらに多くなるように願いたいものですね。

黒潮国体を機会に和歌山県はきっとよくなりますよ

知事＝ぜひそうあってほしいものです。

力をあわせて県土の飛躍を

松下＝和歌山県人には、昔から、海外に出て活躍している人々も少なくありません。それだけ進取の気性に富んでいて、すぐれた素質を持っていると考えられます。その和歌山県人が力を合わせれば、国体の成功はもちろん、それを一つの転機として、和歌山県の、さらにいっそうの発展を生みだすことが必らずできるでしょう。また、ぜひそうあってほしいと、私は強く念じています。

知事さんも、なにかとご苦労でしょうが、和歌山県の発展のため、ひいては日本のために、大いにがんばってください。

私どもも、できるかぎり協力したいと思います。

知事＝どうかよろしくお願いします。

偉大な一九七〇年代――などという言葉も使われていますが、七十年代は和歌山県にとっても国体を機会に飛躍の年代となるよう大きな視野にたって、力いっぱいがんばりたいと思います。

どうか松下さんも、日本のため、いつまでもご健在でいらしてください。

本日は、お忙がしいところほんとにありがとうございました。

黒潮国体シンボルマーク

黒潮国体の成功を願って

訪れる人、迎える人、お互いの心がかよいあう、人間交流の場を黒潮国体に託したい。施設その他の完備もさることながら、あたたかい県民性と産業や観光などを全国に知らせよう。そのために、隅々まで心の行き届いた「まごころ国体」を期待し、その実現にできる限りの協力をしたい。

にこやかな挨拶を

良田雪路
主婦（農家）
有田市辻堂

見知らぬ土地の駅に降り立った人々にとって、駅員さんのにこやかな応待が、どれだけ心をなごやかにすることか。タクシーの運転手さん、駅員さん、道行く私たち、全国からのお客さんに、おいしいみかんとともに、明るく、親切な紀州を印象ずけられるよう、今すぐ、にこやかな挨拶（あいさつ）の習慣を身につけようではありませんか。

職業を通じて選手の世話を

植田保夫
石油販売業
那賀郡粉河町上田井

直接、国体に参加できないが、参加するつもりで、スポーツを愛し、その精神を養ないたい。

私の職業を通じて、全国の選手のみなさんに、できるだけのお世話をさしていただくつもりである。

「山」は自然のままに

酒主照之
高野山大学大学院在学
高野町五之室

山岳部門は、高野町から本宮町へ抜けるコースで行なわれる。国体があると、いろいろな設備が増新設されるのが常だが、山岳部門に関する限り、望ましいことではない。ぜひありのままの姿を紹介したいものだ。変えられた自然は決してもとの姿に戻らないから。

一軒に一鉢でも

畑崎健次
鉄工所勤務
御坊市名屋

無器用ながら、一鉢（はち）でも花をとおもい、この夏から隣人知人より菊などの鉢をもらってきて、庭に置いている。一軒に一鉢でも全戸にあれば道行く人たちの目をなぐさめるのではないだろうか。また選手諸君のスポーツマンシップを甘受する最良の機会で、今後の私たちの生活にもつながると期待している

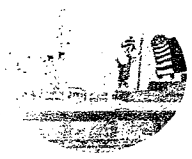
人情厚い、親切な態度で

宮本喜美子
主婦（サラリーマン）
海南市藤白

元来、和歌山の人は口が悪いといわれている。日常語の方言の中に敬語が少く粗野に感違いされるのではなかろうか。ユニークでまろやかな紀州弁を生かして人情厚い、親切な態度で遠来のお客さんを歓待し、和歌山に好印象を持ってもらいたいものである。

ふるさとの文化財

祭りばやしに、素朴な稚子(ちご)渡りに、幼なき日の思い出とふるさとの香りが感じられます。
先人が残し伝えた偉大な文化遺産―ふるさとの文化財―これをみがき、まもり、育ててきた人々の汗と涙がそこに生きているのです。
この尊い文化財を理解するとともに、後の世の人々におくり伝えて行くことも、また、私たちの使命ではないでしょうか。
このたび、郷土が誇る文化財のうち、県が指定した無形文化財を紹介してみました。文化財を理解していただくうえの、ひとつの参考資料としてご利用いただければさいわいです。(順序は原稿到着順)



広八幡神社の田楽
9月30日,10月1日
広川町、八幡神社

「シッパラ踊り」で知られている。起源はわからないが、シッパラ踊りを奉納する拝殿舞殿は、室町時代の建築と伝えられており、その頃の神事として奏せられたものと思われる。
五穀豊饒を祈る踊りで、苗代から、モミまき、除草、耕作、収穫までの行事を現わし、五風十雨の神々とともに喜び勇んで、千秋楽となる。
〔道順〕紀勢本線湯浅駅、徒歩20分

歳瓢踊り(けほん)
10月4、5日
御坊市
日高別院(4日)
小竹八幡神社(5日)

念仏踊りの一種で、空也上人の流れをくむものといわれている。
花笠と派手な衣服をつけ、大瓢(ひよう)小瓢、大鼓、鼓(つづみ)鉦(しょう)などを持った数十人の踊り子が、向い合って、歌詞にあわせて踊るもので、面白い格好でユーモアに満ちている。
〔道順〕紀勢本線御坊駅下車、臨港鉄道で西御坊下車、徒歩5分

神谷の稚子踊り
10月13日～16日
由良町神谷八幡宮
〃　衣奈　〃

京都が発祥の地で、別名「近江八景踊り」ともいわれている。
当時の新婚旅行や、元禄のはなやかな時代の情趣がしのばれ、童子(わらべ)たちの舞う扇や笠が印象的である。
〔道順〕紀勢本線由良駅下車、大引行きバスで神谷下車

熊野速玉祭
10月15日、16日
新宮市速玉大社

毎年10月15日、宮司以下神職が同市阿須賀神社へ神馬を引き、神霊を神馬に乗せて、速玉大社に還幸する神事。
有名な"御船まつり"は、翌16日に、神霊を移した「神幸船」(宝船)が氏子の漕ぐ9隻の「早船」の先導で、「御船島」を回る行事で、途中早船が先導を競いあい、水しぶきをあげて漕ぎ回る姿が勇壮である。
〔道順〕紀勢本線新宮駅下車

横浜の獅子舞
10月17日
由良町里
八幡神社

正保2年(約350年前)長崎より習得したと伝へられている。
牡丹(ぼたん)貝の舞、うたたねの舞、遠貝の舞の三節からなり、勇壮のなかにも、優雅にしてのどかな自然のありさまを、様々な姿態で表現する。
〔道順〕紀勢本線由良駅下車、大引行きバスで由良小学校前下車

上野の獅子舞
11月12日
大塔村、春日神社

紀州の屋根大塔山のふもとに祀(まつ)られる春日神社で毎年行なわれる獅子舞は土地の人々の崇(すう)拝を受け、昔から子々孫々に受け継がれ、故郷の祭ばやしは今もなお人々の心になつかしさと楽しさを伝えている。
第3回近畿東海北陸ブロック民俗芸能大会やNHKの日本の芸能に出演、全国に紹介されている。
〔道順〕紀勢本線富田駅下車、富里行きバスで下川停留所下車

寒川祭
11月15日、16日
美山村、寒川神社

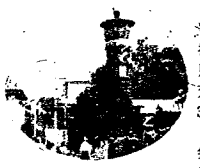
寒川祭は宝歴8年(1758年)に始まる。剣神楽(かぐら)鈴神楽、舞獅子、長老の舞、稚児による薙刀(なぎなた)振りなどのほか、渡御の獅子舞に、オニ、ワニの演技を加え、直会(なおらい)祭りには、お多福の出演がある。
幟(のぼり)の竿頭を飾る紙花の優雅な色彩とともに、酒気を帯びない品位あるお祭りである。
〔道順〕紀勢本線御坊駅から寒川行きバスを利用

御竈木神事
12月14日午前7時
本宮町、本宮大社

"ヒギまつり"ともいわれ、氏子中、1歳から15歳までの男の子が御竈(おかま)木一薪(まき)一1荷を、本宮大社に奉献する神事。
この御竈木は、本宮大社1年中の神事の薪(まき)として使用される。
〔道順〕紀勢本線新宮駅より本宮行バスに乗車終点まで

仏の舞
不定期
花園村、遍昭寺

法華経五の巻、提婆達多品(だいばだったぼん)に説かれている女人成仏を劇的に仕組んだ舞であるといわれている。
龍宮の乙姫を仏にするため、文殊菩薩が釈尊の使いとなって龍宮におもむき、龍王(鬼)と問答して教化の舞を見せ、龍王たちを教化して、乙姫を仏の浄土に迎えるというもの。1000年余の伝統をもつ仏教の古典芸能で、昔から、61年目ごとの閏(うるう)年の10月に公開されるならわし。
〔道順〕高野山または清水町から梁瀬行きバスを利用



粉河祭
7月28日午後4時
粉河町産土神社から向町御旅所(今の粉河駅付近)まで約2㌔

平安初期から続いている産土神社の祭礼で、渡御式(おわたり)が見もの。神輿(みこし)三台に稚子天狗、獅子、大団扇(うちわ)など300余人の大行列が山車13台とともに古代豊かにお渡される豪壮な祭りである。
〔道順〕和歌山線粉河駅または南海バス粉河停留所下車

岩倉流泳法
8月
県営大新プール

紀州藩徳川家いらい300年の伝統を誇っている。先年東京オリンピックでその妙技を披露。
片手播分け、瓜剝、虫泳ぎなどがあり、岩倉流保存会の人々で、初心者の水泳指導と後継者育成の目的で、毎夏、県営大新プールで水泳指導が行なわれている。
保持者　湯川節雄さん＝和歌山市西紺屋町2丁目
〔道順〕南海和歌山軌道線新通下車

大瀬の太鼓踊り
8月14日～17日
本宮町大瀬
橋上公民館

大瀬部落は、源平合戦の落武者たちによってつくられた部落で、吉祥院観音堂に祭られている戦死者の霊を慰めるために、毎年行なわれている行事。
踊りは「お寺通い」と「お伊勢参り」の2種があり、踊り手は男女とも30人で、浴衣姿で両手に日の丸を持ち、大鼓打ちの音頭で手ぶりもあざやかに踊られる。
〔道順〕紀勢本線紀伊田辺駅から湯ノ峰温泉行きバスで大瀬

晩稲の六斎念仏
8月14日、23日夜
南部川村晩稲
光明寺地蔵堂ほか

六斎(さい)念仏は、昔旅の僧が晩稲(おしね)に滞留して教えたと伝えられ「七ツ子」「賽(さい)の河原」「四方拝」「山ごもり」「身売り」の六曲で、素朴な信仰を現わしており、大小六個の鉦(しょう)にあわせて、声明的な曲調で青年たちがうたうのを聞くと、心打たれるものがある。
〔道順〕紀勢本線南部駅下車、竜神行バス晩稲下車、徒歩15分

萩の餅搗踊り
8月15日
本宮町萩玉置神社

熊野三山の奥ノ院ともいわれる玉置神社へ奉納される踊りで、おめでたい時とか、豊年の喜びに、感謝の気持を現わして奉納される
出演者は浴衣姿で、日の丸の扇子を持ち、中央に臼(うす)を置いて、搗(つき)手と共に、入れ替わり立ち替わり、餅搗きの動作を行なう勇壮活発な踊りである。
〔道順〕紀勢本線新宮駅より、本宮行きバスを利用

椎出の鬼の舞
8月16日午後2時
九度山町椎出
厳島神社

"笹囃子(ささばやし)"ともいわれ、五穀豊饒(じょう)、雨乞い、悪病祓いなどを氏神に祈願する神事。
鬼の舞は、俗に10人衆と呼ばれる若衆組によって行なわれ、神主の合図で鬼が現われ、笠鉾内の太鼓、笛、謡に合わせ、持ち構えた棒を縦横無尽に振り廻わし振りかざして行なう豪快な能舞いである
〔道順〕和歌山線橋本駅から南海高野線で高野下下車スグ

団七踊り
夏の盆の夜
和歌山市岡崎

300年前、当地の娘2人が、横死した老父の仇討ちを、奥州仙台白石の城下で行なったという美談を聞いた当地の武士が、感激のあまり、謡(うた)と踊りに仕組んだと伝えられている。
それから長い間、土地の人々に愛され親しまれて、今もなお、お盆の行事の一つとして、仏の霊を慰めるために踊り継がれている。
〔道順〕和歌山駅から岡崎行きバスに乗車、約30分

高芝の獅子舞
9月15日
那智勝浦町
高芝青年会館前広場(住吉神社跡)

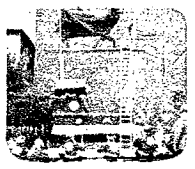
もと高芝にあった住吉神社(現在下里神社に合祀)の祭典に奉納される伊勢流獅子舞で、獅子頭には、鼻黒の雄(おす)獅子が利用される。
「高芝始由来記」によると、「阿波の紺屋次右ヱ門の世話にて寛保年中に始まる」とあり、約225年前のもので、伊勢または阿波より伝わったものといわれている。
〔道順〕紀勢本線下里駅下車徒歩15分

六斎念仏
2月15日　春の彼岸
7月14、15日秋の彼岸
10月15日
かつらぎ町下天野
延命寺

今から770年前、後白河法皇が崩御され、高野山金剛峯寺が法皇の菩提(ぼだい)をまつり、末長く念仏を行なうため、同寺の念仏衆6人に特に妻帯を許して、高野山麓天野荘に下し、念仏講を開いたのがその起こりと伝えられている。
〔道順〕和歌山線笠田駅下車、志賀行きバスで下天野まで徒歩5㌔

湯登り神事
4月13日午前9時
本宮町湯ノ峰温泉

4月15日の本宮大社大祭の前祭行事。湯ノ峰温泉は、昔から本宮大社の潔斎(けっさい)場で、この日、祭典奉仕の宮司以下、神職、氏子総代、稚児などがここで潔斎し、同所王子社から大日越えという道を通って、大日山大日社前に帰る宮渡りの神事をいう。
〔道順〕紀勢本線紀伊田辺駅から湯ノ峰温泉行きバスを利用



木ノ本の獅子舞
10月14、15日
和歌山市木ノ本
八幡宮

この獅子舞は、木ノ本八幡宮の祭典に奉納されるもので、すでに500余年の伝統を持っている。
青年2人が胴衣(どうぎ)にはいって、地上と山車(だし)の上で演じるもので、なかでも、地上5㍍で青竹2本を足場に演じる山車上の舞は、この獅子舞の誇るべき特長である。
〔道順〕和歌山市駅から木ノ本行きバス

小引の童角力
10月15日
由良町衣奈
八幡神社

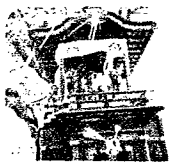
童角力(わらべずもう)は、江戸時代の初期、小引(こびき)浦の漁夫茂作と、戸津井浦の漁夫喜一の2人が、仲の悪かった小引、戸津井両部落の和合を図るために考えだしたものと言われ、5、6歳の幼児から14～5歳の少年までが主役で毎年秋祭りに行なわれている。
〔道順〕紀勢本線由良駅から衣奈行きバスで

平治川の長刀踊り
8月13日、15日
本宮町平治川
公民館

平治川は、平家の落人が先祖であると伝えられ、平家の落人が武器を用いて踊りはじめたのが、今に伝わる長刀(なぎなた)踊りである。
先祖の霊を浮かびあがらせるために、13日に"迎え踊り"15日に、"送り踊り"が行なわれ、毎年初盆の家庭を回って、死者の霊を慰めている。
〔道順〕紀勢本線新宮駅から本宮行きバスで平治川まで

塩津鰌踊り
8月14、15日
下津町塩津
蛭子神社

塩津浦に伝わる鰌(いな)踊りはあたかも鰌が網の中ではねるような踊りで、"基本踊り"から"姿見踊り""さくらくずし""扇踊り"など各種の踊りがある。
昨年、県代表として、福井市での民俗芸能大会に参加したほか、第2回県民会唱祭に特別出演するなど、活発な動きを見せている。
〔道順〕南海バス湯浅または印南行きで塩津停留所下車
徒歩5分

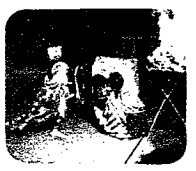


田辺祭
7月23～25日
田辺市
闘鶏神社ほか

"笠鉾(ほこ)祭り"として知られている。鎌倉時代から伝わるもので、笠鉾巡行と宮入勤めは、勇壮典雅な祭礼として近畿にその類を見ない。
"笠鉾"は、寛永12年、福路町(ふくろまち)が、車のない台だけの鉾で巡行したのに始まり、現在では市内7町内から3台の笠鉾に住矢と衣笠(きぬがさ)2基を加え市内を巡行するもので、紀州の大祭として有名である。
〔道順〕紀勢本線紀伊田辺駅下車徒歩5分

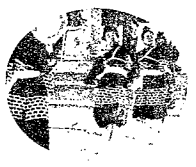
興国寺の燈籠焼き
旧歴7月15日夜
由良町興国寺境内

興国寺は由良の開山として名高く、第一世法燈国師が、祖先の霊を慰めるため、盆会式に護摩(ごま)を焚(た)かれたのが、燈籠焼きの起こりであると伝えられている。
善男善女が持ち寄る百余基の燈籠が、開山大燈籠を先頭に仏殿から、無常堂に集まり、たいまつの燃えさかる火中に投げ込まれる行事で、午前1時頃まで行なわれる
〔道順〕紀勢本線紀伊由良駅から徒歩5分



藤白の獅子舞
1月1日午前0時
海南市　藤白神社

「後鳥羽上皇来宮の砌(みぎり)…」とあるから、この獅子の歴史は古い。歴代天皇の熊野詣(もうで)に、その旅情をお慰めするために生まれたと伝えられている。
笛、太鼓に合わせて、5人で獅子をあやつるもので、チームワークがもっとも大切である。
毎年10月15日の秋祭りには、"釜祓(かまばら)い"の古事にならって、街角で公開される。
〔道順〕南海バス藤白停留所下車

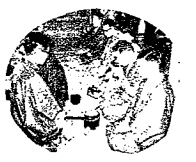


杉野原の御田の舞
1月6日
清水町杉野原
阿弥陀堂

この舞の起源はわからないが、衣装は鎌倉時代の、唄は京都風の名残りをとどめている。
舞は、稲作の1年間を舞に仕組んだもので、田楽の影響を受けて発達したこの地独得の民俗芸能である。
〔道順〕紀勢本線藤並駅から有田鉄道で金屋口下車、梁瀬行きバスに乗車、杉野原下車

御田の舞
1月8日
花園村梁瀬,遍照寺

平安中期から行なわれた田遊びのひとつ。田の神を信仰し田を守護するとともに、先祖を崇敬して一年の豊穣(じょう)を祈願する古典芸能である。
稲作の一年間を舞に仕組んだもので、年の始めに豊年を予祝して行なわれる。
〔道順〕高野山または清水町より、梁瀬(やなせ)行きバスに乗車



粟生のおも講と堂徒式
旧正月8日
清水町粟生吉祥寺

数え年3歳のこどもを対象として行なわれる村入りの儀式で、こどもたちの将来の幸福を祈願する行事である。
この式に奉納された「ごう紙」や「ふしの木の刀」「梅の花」などを持ち帰ると、その年は幸福になるという言い伝えがある。
〔道順〕紀勢本線藤並駅から有田鉄道で金屋口下車、梁瀬行きまたは清水行きバスで藤師堂前下車

熊野御燈祭
2月6日夜
新宮市　神倉神社

古代人の火に対する感謝と畏怖(いふ)の信仰が、修験道の影響により、神事として発展してきたもので、その夜は、氏子の男女、老いも若きも、白装束に縄帯、白頭巾、ワラジの服装で、松明を持って夕刻より神倉山に登り、松明に点火して、速玉大社めざして一せいに山を馳け下りる。豪壮にして華麗な行事で、まこと天下の奇祭にふさわしい。
〔道順〕紀勢本線新宮駅下車

得生寺の来迎会式
5月14日午後4時
有田市糸我
雲雀山得生寺

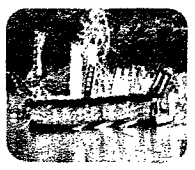
雲雀(ひばり)山得(とく)生寺は中将姫ゆかりの寺院で、25菩薩にふんしたこどもたちの練供養(ねりくよう)で有名。
幼なくして雲雀山に捨てられた中将姫を慕って行なわれる行事で「嫁見するなら糸我の会式」といわれる程、近郷から善男善女が集まり、賑わいを見せている。
〔道順〕紀勢本線宮原駅または南海バス糸我停留所下車南へ徒歩10～15分

古座の獅子舞
旧6月の1番丑(うし)の日
古座町古座

"花天狗""扇のわざ""寝獅子""天狗"など数種の舞から成り立つ勇壮活発な獅子舞いで、特に7・5・3の足運びと、天・地・火・水の高度な技術は、この獅子舞の奥儀とされている。
岡本太郎著「火と水と海賊」や四国テレビなどで、全国に紹介されている。
〔道順〕紀勢本線古座駅下車

那智の火祭り
7月14日午後2時
那智のお滝

那智大社の例大祭に行なわれるもので、熊野権現12社をお滝もとより今の那智大社にお遷(うつ)しする古事を伝える神事。
"扇祭り"と"火祭り"があり、初めに細長い框(わく)に緞子(どんす)を張り、32面の扇と8面の鏡を飾った神輿(みこし)12体をお滝もとに運び、聖火の焔(ほのお)で清めて本社へお遷しする行事。
〔道順〕紀勢本線那智駅下車、那智山行きバスで那智山まで。



古座川河内祭
7月14、15日
古座川町宇津木
河内神社

源平のむかし、古座の漁民が、源義経のひきいる源氏に味方し、屋島の合戦に参加して大勝を収めその戦勝を報告するため、軍艦をつらねて神前を回ったのがこの祭りの起源といわれている。
7月14日午後3時、古座川口より宇津木の河内神社(川中の小島にある)まで川をさかのぼり、夜は宵宮祭で賑わい、15日は河内神社の例大祭が行なわれる。
〔道順〕紀勢本線古座駅下車